

**大学発新産業創出プログラム プロジェクト推進型 ビジネスモデル検証支援
事後評価結果**

研究開発課題名:	超高速高解像4Dイメージング顕微鏡技術の事業化検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	広島大学 大学院統合生命科学研究科 准教授 杉 拓磨

1. 本事業での活動目的

本研究者らのライトフィールド(LF)顕微鏡は3D空間をスキャンレスに高解像撮影可能なため、既存の空間スキャンが必要な光学顕微鏡に比べ、撮影速度やコストに優位性を持つ。本事業では「高解像 LF 顕微鏡が既存の4Dバイオイメージング技術のリアルタイム性とコストの問題を解決する」というビジネスモデルを検証した。顧客に対してヒアリングを実施し、実際に顧客に価値をもたらすか検証を行い、ライフサイエンス分野でのニーズが高いことが明らかになった。

2. 総合所見

事業化仮説と研究成果に基づいたヒアリングを行い、明確なニーズがある市場を特定できたことを評価する。多くの VC との意見交換を積極的に行うことで構築した人的ネットワークを生かして、着実に事業化を実現させることを期待する。

以上